

Calendar for ASP.NET Web Forms

2020.04.16 更新

グレースィティ株式会社

目次

製品の概要	3
ComponentOne for ASP.NET Web Forms のヘルプ	3
主な特長	4-7
クイックスタート	8
手順 1: アプリケーションの作成	8
手順 2: コントロールのカスタマイズ	8
手順 3: アプリケーションの実行	8
アクセス	9
カルチャ(地域)設定	10
デザイン時のサポート	11
C1Calendar スマートタグ	11-12
C1Calendar コレクションエディター	12
DateTime コレクションエディター	12-13
カレンダーの要素	14
月ビュー要素	14
ナビゲーション要素	14-15
プレビュー要素	15-16
タイトル要素	16-18
C1Calendar の外観	19
テーマ	19-22
C1Calendar CSS セレクタ	22-23
C1Calendar の動作	24
遷移効果	24-25
アニメーションの特続時間	25
カレンダーのナビゲーション	25-26
内側と外側の〈前へ〉 / 〈次へ〉ナビゲーション	26
ナビゲーションのツールチップ	26
カレンダープレビュー	26-27
初期カレンダービュー	27-28
マルチカレンダービュー	28-29
ポップアップカレンダー	29

カレンダー選択	29-30
カレンダーのセレクト	30
カレンダー日	30-31
日付書式パターン	31
選択した日	31
無効な日	31-32
サーバー側カレンダー	33
クライアント側の機能	34
クライアント側イベント	34
タスク別ヘルプ	35
カスタム日付の作成	35-36
ポップアップカレンダーの作成	36-37
C1Calendar の外観のカスタマイズ	37
テーマの変更	37-38
カスタムテーマの追加	38-39
カレンダータイトルへの組み込み日付形式パターンの適用	39
カレンダーの月の完全名と年の表示	39-40
カレンダーの月の省略名と年の表示	40
カレンダーの月と年の表示	40-41
カレンダータイトルへのカスタム日付書式パターンの適用	41
月ビューでのカレンダータイトルに日付書式の適用	41-42
ナビゲーションタスク	42
外側のナビゲーションボタンを使用したカレンダーの移動	42-43
次のカレンダー月のプレビュー	43-44
選択タスク	44
カレンダーの週番号の選択	44-45
カレンダー月の選択	45
カレンダーの曜日の選択	45-46
最小および最大日付範囲の設定	46-47
クライアント側からの日付の選択	47-48
カルチャの設定	48-49

製品の概要

Calendar for ASP.NET Web Forms を使用して、Web サイト上に高度に洗練されたカレンダーを追加します。単一の月あるいはカスタマイズ可能なスタイルおよびナビゲーション要素を含む複数の月の表を表示できます。

ComponentOne for ASP.NET Web Forms のヘルプ

ComponentOne for ASP.NET Web Forms の各コントロールで共通したトピック、アセンブリの追加、テーマの適用、クライアント側情報などについては「[ASP.NET Web Forms ユーザーガイド](#)」を参照してください。

主な特長

Calendar for ASP.NET Web Forms の主な特長は以下の通りです。

- 選択モード

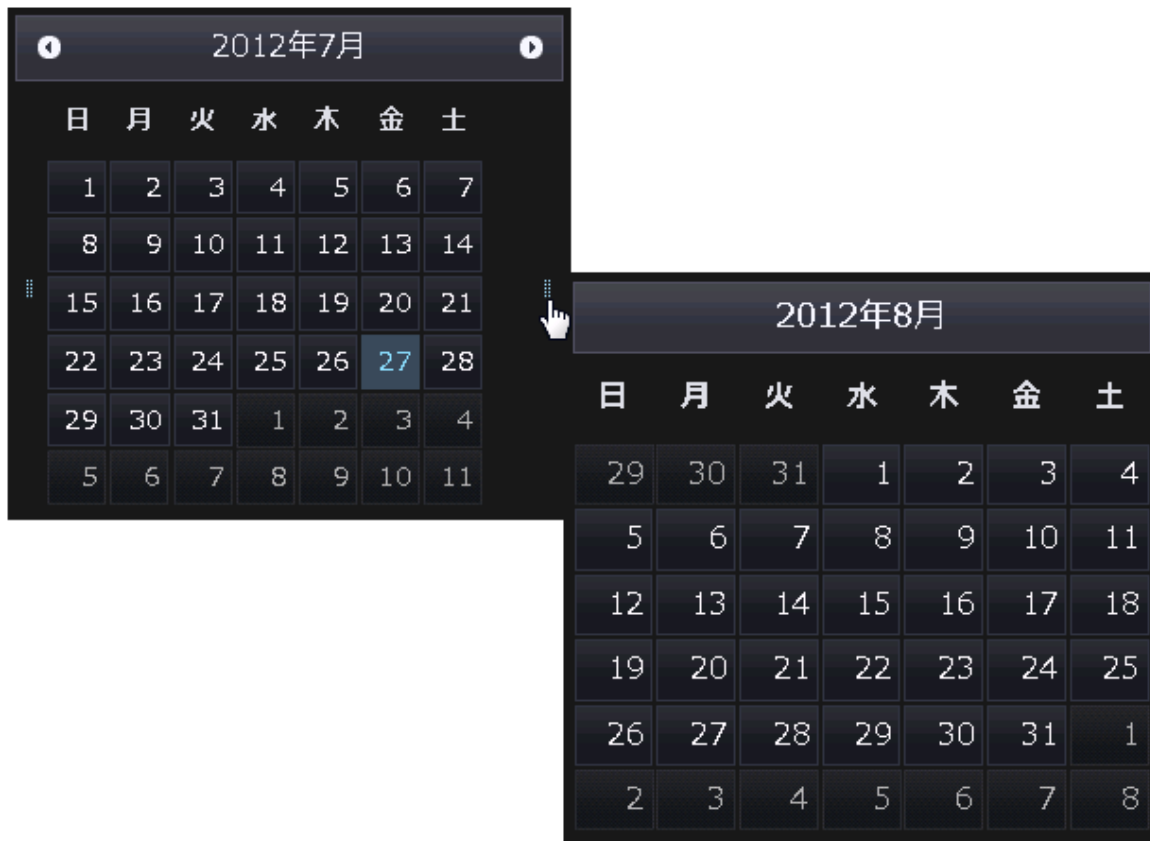
Calendar は、単一または複数の日付選択をサポートします。また、曜日セレクトと週番号セレクトから、火曜日となるすべての日、週の特定的の日など、日付グループを選択することもできます。さらに、月セレクトを使用し、月全体の日を選択することも可能です。

	日	月	火	水	木	金	土
27	1	2	3	4	5	6	7
28	8	9	10	11	12	13	14
29	15	16	17	18	19	20	21
30	22	23	24	25	26	27	28
31	29	30	31	1	2	3	4
32	5	6	7	8	9	10	11

Day : Days : Week Day : Week Number : Month :

- 月のプレビュー

Calendar には、前のカレンダー一月と次のカレンダー一月を表示するプレビューペイン(オプション)が用意されています。このペインを使用して、次・前の月に移動せずに、その月の開始日と終了日からなる日付期間を閲覧できます。一つのプロパティを設定するだけで、この機能を有効にすることができます。



- **アニメーション効果**

カレンダーコントロールには、上、下、右、左からカレンダーをスライドする組み込みのアニメーション効果が含まれています。1つだけのプロパティを設定することで、C1Calendar のアニメーション効果のタイプを指定できます。

- **プロパティビルダ**

カレンダーコントロールには、カレンダーのすべての要素を論理的なグループに割り当てるプロパティビルダーが含まれています。この機能により、[プロパティ]ウィンドウに含まれているプロパティの一覧をスクロールせずに、変更対象の特定の要素が簡単に見つけられます。この機能は、毎度繰り返すタスクを毎度実行せずに実装できるために役に立ちます。

- **ローカライズ**

Calendar は、曜日とタイトルの完全なローカライズをサポートしています。曜日とタイトルに表示される文字列は、指定された言語によって決定されます。

- **クイックナビゲーション**

Calendar は、カレンダー月のナビゲーションとして、以下の3種類の方法を提供します。〈前へ〉または〈次へ〉ボタンをクリックし、前の月または次の月に移動できます。〈クイック前へ〉または〈クイック次へ〉ボタンをクリックし、前の複数月または次の複数月をジャンプできます。ポップアップカレンダーの月と年セレクターカレンダータイトルをクリックすると、ポップアップカレンダーが開き、ポップアップカレンダーから月と年を選択できます。



- **カレンダーの方向**

複数のカレンダーを表示する場合、カレンダーの方向を変更する必要があるかもしれません。Calendar は、カレンダーを水平方向または垂直方向に表示できます。

- **初期ビュー**

カレンダーをDay、Month、Year、またはDecade のいずれかのビューで表示できます。さらに、これらのビューのいずれかをデフォルトまたはカレンダーの初期ビューとして指定することも可能です。

- **マルチカレンダービュー**

Calendar はカレンダー領域に複数の月を表示できます。この機能を有効にするには、マルチカレンダービューで月の列数と行数を指定する必要があります。



- **テーマ**

スマートタグをクリックするだけで、10種類のプレミアムテーマ (Arctic、Lucid、Metro、Metro-Dark、Midnight、Aristo、Rocket、Cobalt、Stafford および Sterling) のいずれかを選択して外観を変更します。オプションとして、jQuery UI から ThemeRoller を使用してカスタマイズしたテーマを作成します。

Calendar for ASP.NET Web Forms

- **CSS のサポート**

CSS (Cascading Style Sheet) のスタイルを使用して、カスタムスキンを定義します。カレンダーコントロールを組織の基準に合致させます。

クイックスタート

このクイックスタートは、**Calendar for ASP.NET** を初めて使用するユーザーのために用意されています。このクイックスタートでは、**C1Calendar**コントロールを含むASP.NET アプリケーションを作成し、C1Calendar にデータを追加し、C1Calendar をカスタマイズします。

手順 1: アプリケーションの作成

このトピックでは、**C1Calendar** コントロールを追加します。

1. まず ASP.NET Web アプリケーションを作成します。
2. コントロールをツールボックスに追加します~コントロールをツールボックスに追加します。
3. 「**デザイン**」タブを選択します。
4. 「**デザイン**」タブをクリックしてデザインビューを開き、Visual Studio ツールボックスに移動して、**C1Calendar** コントロールをダブルクリックしてフォームのメインコンテンツに追加します。

手順 2: コントロールのカスタマイズ

このトピックでは、C1Calendar コントロールのいくつかのプロパティを設定します。

1. Visual Studio のメニューから[表示]→ [プロパティウィンドウ]を選択します。
2. [プロパティ]ウィンドウの上部にあるドロップダウンリストをクリックし、リストからC1Calendar を選択します。
3. **AllowPreview** プロパティを true に設定します。
4. **MinDate** プロパティのドロップダウン矢印をクリックして、2011/7/11 に設定します。
5. **MaxDate** プロパティのドロップダウン矢印をクリックして、2011/7/18 に設定します。
6. **NavButtons** プロパティを Quick に設定します。C1Calendar コントロールのマークアップは次のようになります。

ソースビュー

```
<cc1:C1Calendar ID="C1Calendar1" runat="server" AllowPreview="True"
    MaxDate="2011-07-18" MinDate="2011-07-11" NavButtons="Quick">
</cc1:C1Calendar>
```

アプリケーションを実行して、書式付けのカレンダーを表示します。

手順 3: アプリケーションの実行

プロジェクトを実行して以下を表示するには、[F5]を押してください。

- カレンダー上に**MinDate** から**MaxDate** までのみが有効になっています。
- 前の月または次の月のカレンダーを表示するには、プレビューインジケータ上にマウスを移動します。
- <クイック-前へ>または<クイック-次へ>ボタンをクリックし、前の年または次の年をジャンプできます。

アクセス

TabIndex プロパティを設定すると、[Tab]キーを使用して、コントロールとその要素を移動できます。[Tab]キーを押すと、コントロールの標準入力フォーカスの外観が取得され、コントロール内の項目の内枠の周囲が点線で表示されます。**C1Calendar** が Web ページ上の唯一のコントロールである場合、[Tab]キーをもう一度押すとフォーカスが C1Calendar のナビゲーションボタンに移動し、〈クイック - 前へ〉ボタンから〈クイック - 次へ〉ボタンへと、左から右への順序で移動します。Web ページ上に複数のコントロールがある場合は、[Tab]キーをもう一度押すとフォーカスは C1Calendar の要素ではなく、次のコントロールに移動します。

フォーカスがナビゲーションボタンのどれかにある場合、[Enter]キーを押すと選択されたナビゲーションボタンに対応するアクションが呼び出されます。たとえば、フォーカスが〈前へ〉ボタンにある場合に[Enter]キーを押すと、前のカレンダー一月に移動できます。

カルチャ(地域)設定

地域設定は、**C1Calendar** 機能のほとんどの面に影響を与えます。データ入力の書式設定と実行は、文字列比較、数値および日時書式パターン、および特殊文字(小数点文字など)のカルチャ設定によって決まります。**C1Calendar** は、**System.Globalization** 名前空間全体の曜日とタイトルの完全なローカライズをサポートしています。この名前空間は、言語、国/地域、使用するカレンダー、日付/通貨/数値の書式パターン、および文字列のソート順序など、カルチャに関連する情報を含むいくつかのクラスから構成されています。

曜日とタイトルに表示される文字列は、**Culture** プロパティに指定された言語によって決まります。**C1Calendar** のカルチャを簡単に定義するには、デザイナー、.aspx ファイル内での宣言、またはコードビハインドファイルでのプログラムを使用し、**Culture** プロパティの値を設定します。

C1Calendar へのカルチャ設定の適用方法の詳細については、「[カルチャの設定](#)」を参照してください。

デザイン時のサポート

C1Calendar は、カスタマイズされたコンテキストメニュー、スマートタグ、および充実したデザイン時サポートを提供するデザインを備えており、オブジェクトモデルの操作が簡素化されています。

以下のセクションでは、C1Calendar のデザイン時環境を使用して**C1Calendar**コントロールを構成する方法について説明します。

C1Calendar スマートタグ

Visual Studio では **C1Calendar** コントロールはスマートタグを備えています。スマートタグは、**C1Calendar** で最もよく一般的に使用されるプロパティを提供するショートカットタスクメニューです。

C1Calendar コントロールでは、スマートタグを使用することによって**プロパティビルダ**や一般的なプロパティにすばやく簡単にアクセスできます。

[**C1Calendar タスク**]メニューにアクセスするには、**C1Calendar** コントロールの右上端にあるスマートタグをクリックします。これによって、[**C1Calendar タスク**]メニューが開きます。



The screenshot shows the 'C1Calendar タスク' (C1Calendar Tasks) menu. It contains several settings:

- 他の月日の表示 (Other month and day display)
- 曜日の表示 (Day of the week display)
- 週番号の表示 (Week number display)
- 曜日の書式 (Day of the week format): Short
- プレビューを有効にする (Enable preview)
- テーマ (Theme): aristo
- 新しいテーマの作成... (Create new theme...)
- CDN の使用 (Use CDN)
- CDN パス (CDN path): http://cdn.wijmo.com/
- Bootstrap の使用 (Use Bootstrap)
- Mobile Mode
- バージョン情報... (Version information...)

[**C1Calendar タスク**]メニューは、以下のように操作します。

- **他の月日の表示**
[他の月日の表示]チェックボックスを ON にすると、カレンダーの現在の月には属さない他の月日が表示されます。これはデフォルトで ON です。
- **曜日の表示**
[曜日の表示]チェックボックスを ON にすると、カレンダーに現在の月の曜日が表示されます。これはデフォルトで ON です。
- **週番号の表示**
[週番号の表示]チェックボックスを ON にすると、カレンダーに現在の月の週番号が表示されます。これはデフォルトで OFF です。
- **曜日の書式**
[曜日の書式]ドロップダウンボックスをクリックすると、異なる書式 (FirstLetter、FirstTwoLetters、Abbreviated) のリストが表示され、カレンダーの曜日の書式を選択できます。

- **プレビューを有効にする**
[プレビューを有効にする]を選択すると、実行時に前のカレンダー月と次のカレンダー月をプレビューできます。
- **テーマ**
[テーマ]ドロップダウンボックスでは、**Theme** プロパティを設定し、**C1Calendar** コントロールの外観を定義済みのテーマの1つに変更できます。デフォルトでは、これは **Aristo** テーマに設定されます。使用可能なテーマについての詳細は、「[テーマ](#)」を参照してください。
- **新しいテーマの作成**
[新しいテーマの作成]オプションをクリックすると、**ThemeRoller for Visual Studio** が開きます。したがって、開発環境内でテーマをカスタマイズすることができます。アプリケーションで **ThemeRoller for Visual Studio** を使用方法については、「[ThemeRoller for Visual Studio](#)」を参照してください。
- **CDN の使用**
[CDN の使用]チェックボックスを ON にすると、CDN からクライアントリソースがロードされます。これはデフォルトで OFF です。
- **CDN パス**
CDN の URL パスを表示します。
- **Bootstrap の使用**
[Bootstrap の使用]オプションを選択すると、コントロールに Bootstrap テーマを適用することができます。アプリケーションで Bootstrap テーマを使用する方法については、「[Bootstrap for ASP.NET Web Forms クイックスタート](#)」を参照してください。
- **バージョン情報**
[バージョン情報]をクリックすると、製品のバージョン情報を確認できるダイアログボックスが表示されます。

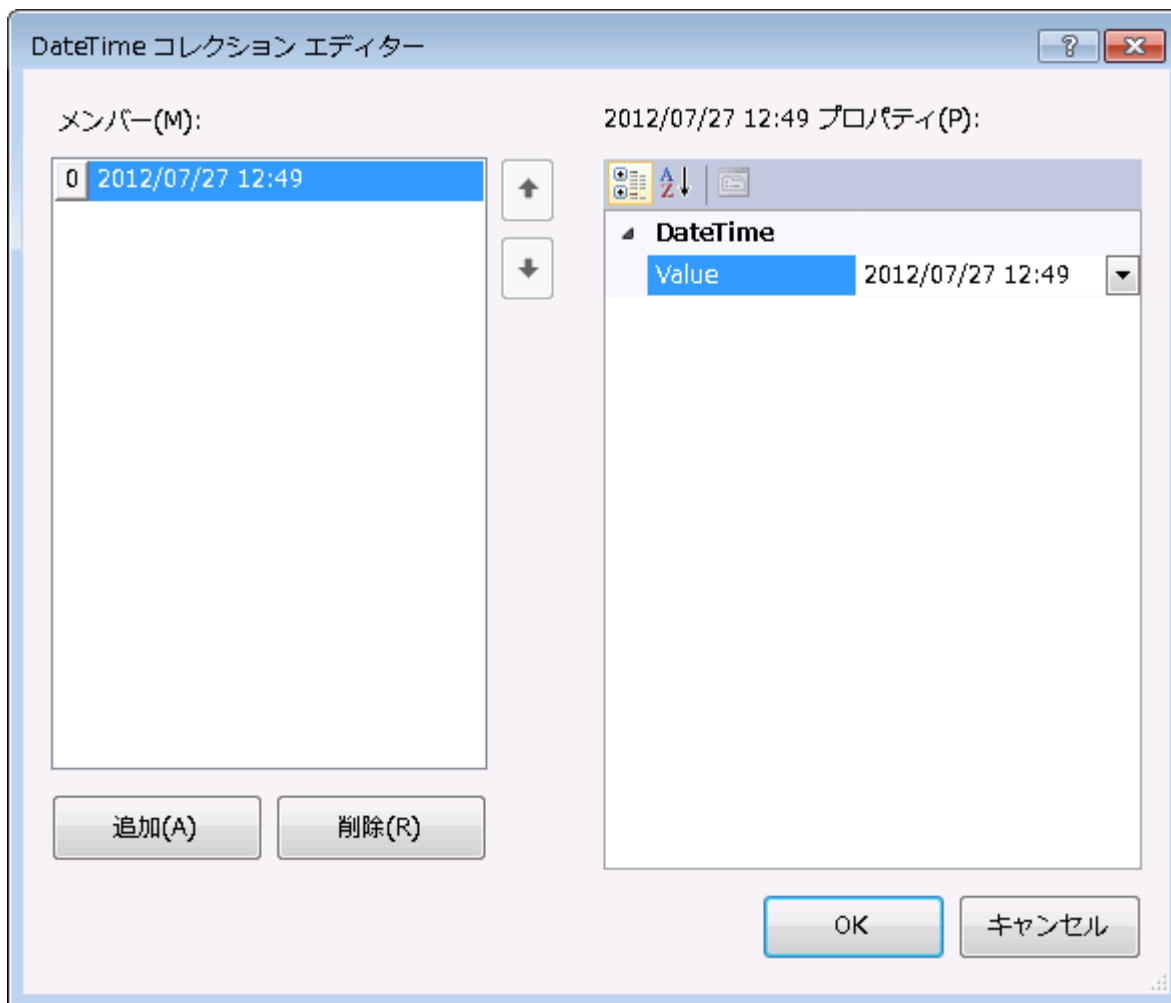
C1Calendar コレクションエディター

C1Calendar には、以下のコレクションエディターが含まれており、これを使って、選択した日と無効な日を追加／削除することができます。

- **Date Time コレクションエディター**

DateTime コレクションエディター

[**DateTime コレクションエディター**]では、ユーザーは、**C1Calendar** 内で選択したカレンダー日または無効な日を追加／削除できます。



選択した日の[DateTime コレクションエディター]にアクセスするには、以下の手順を実行します。

1. **C1Calendar**コントロールを右クリックし、コンテキストメニューから[プロパティ]を選択します。
2. C1Calendar のプロパティウィンドウで、**SelectedDates** プロパティを選択します。
3. **SelectedDates** プロパティの横の<...>ボタンをクリックし、[DateTime コレクションエディター]を表示します。

無効な日の[DateTime コレクションエディター]にアクセスするには、以下の手順を実行します。

1. **C1Calendar** コントロールを右クリックし、コンテキストメニューから[プロパティ]を選択します。
2. C1Calendar のプロパティウィンドウで、**DisabledDates** プロパティを選択します。
3. **DisabledDates** プロパティの横の<...>ボタンをクリックし、[DateTime コレクションエディター]を表示します。

カレンダーの要素

このセクションでは、**C1Calendar** コントロールを構成する要素の概要について視覚的に説明します。各トピックは、カレンダーコントロールのさまざまな特徴を表す各種の要素に分類されます。各トピックで提供される情報は、次のとおりです。

- 要素の目的とそのコントロール内の位置。
- 要素の基本部分。
- 要素の概観と機能に影響する要素のスタイルとプロパティ。

月ビュー要素

月ビュー領域は、7日x6週のカレンダーマトリックスを表示します。この中に、カレンダー上部には曜日の名前、現在のカレンダー(月ビュー領域)上のすべての日、**ShowWeekNumbers** プロパティが有効な場合には週番号、カレンダー月の選択が有効な場合には月セレクトが含まれます。月セレクトに加え、**C1Calendar** には、週番号と曜日セレクトもあり、特定の曜日または週番号を選択できます。カレンダーのセレクトの詳細については、「[カレンダーのセレクト](#)」を参照してください。

カレンダーの月ビュー領域を構成する各要素の名称は次のとおりです。



月ビュー領域には、次の日タイプを含めることができます。

- 通常日 — 現在の月に表示される日を含みます。
- 無効な日 — 無効な日がコレクションに追加されたときに表示します。
- 他の月日 — **ShowOtherMonthDays** プロパティが **True** に設定されたときに表示します。
- 選択した日 — 選択されたとき、および選択した日付コレクションに追加されたときに表示される日を示します。
- 今日 — 日付の周囲が塗りつぶされた矩形ボックスで囲まれた現在の日を示します。

カレンダー月領域の外観に影響するプロパティは次のとおりです。

- **DisplayDate** — 現在表示している月の日を取得または設定します。
- **ShowOtherMonthDays** — 前後の月に属する日を表示するかどうかを決定します。
- **ShowWeekNumbers** — 週番号を表示するかどうかを決定します。

ナビゲーション要素

C1Calendarには、複数のカレンダー月を移動するための高度なナビゲーションシステムが含まれています。カレンダーのナビゲーション要素は、カレンダータイトル上に表示され、以下の各項目から構成します。

- 〈前へ〉と〈次へ〉ボタン - ◀または ▶をクリックし、前の月または次の月に移動できます。これは、カレンダーコントロールのデフォルトのスタイルになります。
- 〈クイック - 前へ〉と〈クイック - 次へ〉ボタン - ◀◀または▶▶ボタンをクリックし、前の複数月または次の複数月をジャンプできます。この機能は、NavButtons プロパティが **Quick** に設定されている場合に有効になります。
- ポップアップカレンダーの月と年セクター - カレンダータイトルをクリックすると、月ビュー領域が開き、その年の 12 カ月（1月から12月まで）が表示します。アニメーションが有効になっている場合、日の元の月ビュー領域が最少化され、新しい月ビュー領域が徐々に現れます。カレンダータイトルの年を2回目にクリックすると、2000年から2011年までの新しい月ビュー領域が表示します。前の月ビューに戻るには、月ビュー領域で選択した項目をクリックします。
- プレビューボタン - **AllowPreview** プロパティを有効にした場合、プレビューボタンはカレンダーコントロールの左側と右側に表示します。左側のプレビューボタンをクリックすると、前のカレンダー月は現在のカレンダーコントロールの隣に表示され、右側のプレビューボタンをクリックすると、次のカレンダー月は現在のカレンダーコントロールの次に表示します。

カレンダーのナビゲーションシステムを構成する各要素の名称は次のとおりです。



各ナビゲーション要素には固有のプロパティスタイルが関連付けられているため、ナビゲーション要素をカスタマイズできます。

プレビュー要素

C1Calendarには、現在の月を表示したままでカレンダーの前の月と次の月をプレビューするためのプレビューバーが含まれます。プレビューバーは、**AllowPreview** プロパティが **True** に設定された場合に、カレンダーコントロールの左端と右端に表示します。プレビューバー上でマウスポインタを置いて、前の月と次の月を表示できます。

プレビュー要素は、以下の各項目から構成します。

- 「前月」プレビューボタン

- 「前月」プレビューバー
- 「翌月」プレビューボタン
- 「翌月」プレビューバー

各プレビュー要素には固有のスタイルがあります。

プレビューカレンダーを構成する各要素の名称は次のとおりです。



タイトル要素

カレンダータイトルは、すべての月ビューで共有されるグループタイトルです。月ビューまたはマルチ月ビューのカレンダーの上部に表示します。カレンダータイトルの表示は、**TitleFormat** プロパティに適用される書式文字列のタイプによって影響します。

月ビューのタイトル

Calendar for ASP.NET Web Forms

カレンダータイトル

2012年7月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11

マルチ月ビューのタイトル

カレンダータイトル

2012年7月							2012年8月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	29	30	31	1	2	3	4
8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11
15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18
22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25
29	30	31	1	2	3	4	26	27	28	29	30	31	1
5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8

カレンダータイトルの表示

TitleFormat プロパティを標準またはカスタム日付書式文字列に設定すると、プロパティに入力されたデータが書式設定します。C1Calendar タイトルのデフォルトの書式文字列は「yyyy年MMMM」です。**TitleFormat** プロパティに提供された日付書式文字列は下の表のとおりです。

タイトル書式文字列	説明	例
yyyy年MMMM	MMMM デフォルトの DateTime 書式文字列。現在の年、カレンダーの月の完全名の順に表示します。	表示する現在の月が12月である場合、カレンダータイトルは 2011年12月 のように表示します。
MMM yyyy	カレンダーの開始月と終了月の省略名、現在の年、の順に表示します。	表示する現在の月が12月である場合、カレンダータイトルは 12-2011 のように表示します。
MM-yyyy	カレンダーに表示する現在の月の整数値、ダッシュ(-)、現在の年、の順に表示します。	表示する現在の月が12月である場合、カレンダータイトルは 12-2011 のように表示します。

カレンダーの「Month」ビューで、カレンダーのタイトルを指定もできます。詳細については、「Apply Date Format to Calendar Title in Month View」を参照してください。

C1Calendar の外観

C1Calendar の外観は、組み込みのテーマか、CSS スタイルによって制御されます。カレンダーのテーマは、ナビゲーションボタン、プレビューボタン、月タイトル、月領域など、すべてのカレンダー要素の外観に影響を及ぼします。

C1Calendar は、ユーザーがカスタマイズしやすいように設計されています。デフォルトの外観を数限りなくさまざまに変更できます。

CSS スタイルを適用して、**C1Calendar** の要素を変更できます。**C1Calendar** には、**C1Calendar.CSSClass** プロパティの横にあるドロップダウン矢印をクリックすると表示される組み込みの CSS セレクタが用意されています。

テーマ

C1Calendar は、コントロール用に **Arctic**、**Aristo**、**Cobalt**、**Lucid**、**Metro**、**Metro-Dark**、**Midnight**、**Rocket**、**Stafford** および **Sterling** という10種類の組み込みテーマを備えています。これらは **Theme** プロパティを設定して簡単にコントロールに適用できます。

マウスが上に置かれた状態で表示される10種類の組み込みテーマは次の通りです。

テーマ	外観
Arctic	 A calendar preview for the Arctic theme. It shows a grid for July 2012. The header has navigation arrows and the month/year. The days of the week are labeled with their first kanji characters. The date 27 is highlighted with a light gray background.
Aristo (デフォルト)	 A calendar preview for the Aristo theme, which is the default. It shows a grid for July 2012. The header has navigation arrows and the month/year. The days of the week are labeled with their first kanji characters. The date 27 is highlighted with a dark blue background.

Cobalt

2012年7月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11

Lucid

2016年4月						
日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
1	2	3	4	5	6	7

Metro

2016年4月						
日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
1	2	3	4	5	6	7

Calendar for ASP.NET Web Forms

Metro-Dark

2016年4月						
日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
1	2	3	4	5	6	7

Midnight

2012年7月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11

Rocket

2012年7月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11

Stafford

2016年4月						
日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
1	2	3	4	5	6	7

Sterling

2012年7月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11

C1Calendar CSS セレクタ

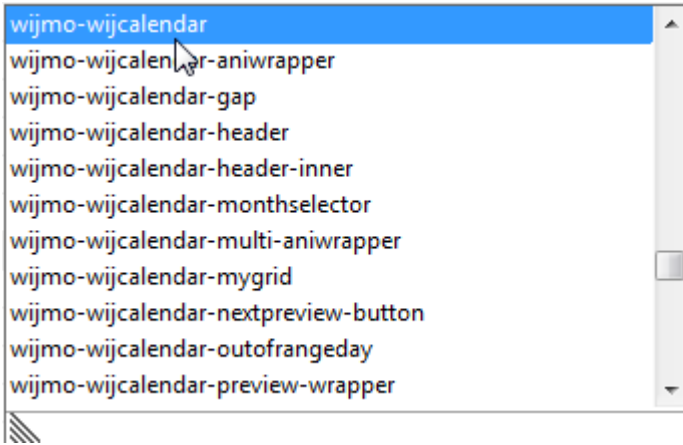
CSS を使用して **C1Calendar** の任意の要素をスタイル設定し、その外観を真に独特のものにすることができます。ツリービューのカスタマイズ処理を簡素化するために、ComponentOne for ASP.NET Web Forms には、その6種類の組み込みテーマごとに CSS セレクタが組み込まれています。

枠、背景、テキスト、フォント、マージン、埋め込み、リスト、輪郭、表などの一般的な CSS プロパティを該当する CSS セレクタに適用できます。

一般に使用される個々の CSS セレクタとグループ化された CSS セレクタの一覧について、プロジェクト内の **C1Calendar** コントロールを選択し、**C1Calendar** Visual Studio のプロパティウィンドウの **CssClass** プロパティの横にあるドロップダウンリストを表示します。

C1Calendar CSS セレクタは **wijmo-wijcalendar** で始まります。

Calendar for ASP.NET Web Forms



C1Calendar の動作

ユーザーのニーズに合わせて C1Calendar の動作をカスタマイズできます。カレンダーをポップアップ C1Calendar の動作に変更したり、ユーザーによるカレンダー上の日付の選択方法をカスタマイズしたり、ユーザーによるカレンダーのナビゲーション方法をカスタマイズしたり、プレビューカレンダーの表示／非表示を決定したりできます。

遷移効果

アニメーション化されたスライド／フェイド状態の間に遷移効果を追加すれば、それらの状態間にシームレスな流れが生まれ、カレンダーの魅力が高めることができます。C1Calendar には、スライドアニメーションの遷移の視覚効果をもつ 32 種類の遷移効果が含まれています。カレンダー月の間をナビゲートする場合、左側または右側にスライドインされたりするのではなく、スライドインするときにはバウンスインし、スライドアウトときはバウンスアウトします。デフォルトでは、**Easing** プロパティは **EaseLinear** に設定され、カレンダー月を切り替える際に、各カレンダーはスムーズで直線的な遷移効果を表示します。

以下の遷移効果は、状態間の遷移をアニメーション化するために使用できます。これにより、メニューが拡張／縮小する間、ユーザーにとって動きがスムーズに見えます。

遷移の名前	遷移の説明
EaseInBack	バックのイーasingイン。開始は遅く、それから加速します。
EaseInBounce	バウンスしながらのイーasingイン。開始は遅く、それから加速します。バウンスの回数は持続時間に関係します。持続時間が延びれば、バウンスの回数は多くなります。
EaseInCirc	円形のイーasingイン。開始は遅く、それから加速します。
EaseInCubic	3次型のイーasingイン。開始は速度ゼロで、それから加速します。
EaseInElastic	しなやかなイーasingイン。開始は遅く、それから加速します。
EaseInExpo	級数的なイーasingイン。開始は遅く、それから加速します。
EaseInOutBack	バックのイーasingインとイーasingアウト。開始は遅く、途中まで加速し、それから減速します。 /td>
EaseInOutBounce	バウンスしながらのイーasingインとイーasingアウト。開始は遅く、途中まで加速し、それから減速します。
EaseInOutCirc	円形のイーasingインとイーasingアウト。開始は遅く、途中まで加速し、それから減速します。
EaseInOutCubic	3次型のイーasingインとイーasingアウト。開始は速度ゼロで、途中まで加速し、それから再び速度ゼロまで減速します。
EaseInOutElastic	しなやかなイーasingインとイーasingアウト。開始は遅く、途中まで加速し、それから減速します。
EaseinOutExpo	級数的なイーasingインとイーasingアウト。開始は遅く、途中まで加速し、それから減速します。
EaseInOutQuad	2次型のイーasingインとイーasingアウト。開始は遅く、途中まで加速し、それから再び速度ゼロまで減速します。
EaseInOutQuart	4次型のイーasingインとイーasingアウト。開始は速度ゼロで、途中まで加速し、それから再び速度ゼロまで減速します。

Calendar for ASP.NET Web Forms

EaseInOutQuint	5次型のイー징グインとイー징グアウト。開始は速度ゼロで、途中まで加速し、それからゼロまで減速します。
EaseInOutSine	正弦型のイー징グインとイー징グアウト。開始は遅く、途中まで加速し、それから減速します。
EaseInQuad	2次型のイー징グイン。開始は速度ゼロで、それから加速します。
EaseInQuart	4次型のイー징グイン。開始は遅く、それから加速します。
EaseInQuint	5次型のイー징グイン。開始は速度ゼロで、それから加速します。
EaseInSine	正弦型のイー징グイン。開始は遅く、それから加速します。
EaseOutBack	バックのイー징グアウト。開始は速く、それから減速します。
EaseOutBounce	バウンスしながらのイー징グアウト。開始は速く、それから減速します。バウンスの回数は持続時間に関係します。持続時間が延びれば、バウンスの回数は多くなります。
EaseOutCirc	円形のイー징グアウト。開始は速く、それから減速します。
EaseOutCubic	3次型のイー징グインとイー징グアウト。開始は全速で、それからゼロまで減速します。
EaseOutElastic	しなやかなイー징グアウト。開始は全速で、それからゼロまで減速します。
EaseOutExpo	級数的なイー징グアウト。開始は速く、それから減速します。
EaseOutQuad	2次型のイー징グアウト。開始は全速で、それからゼロまで減速します。
EaseOutQuart	4次型のイー징グアウト。開始は速く、それから減速します。
EaseOutQuint	5次型のイー징グアウト。開始は全速で、それからゼロまで減速します。
EaseOutSine	正弦型のイー징グアウト。開始は遅く、それから加速します。
Linear	直線的なイー징グ。始めから終わりまで、加速も減速もなくスムーズに移行します。
Swing	始めから終わりまで、加速も減速もなくスムーズに移行します。

アニメーションの特続時間

アニメーション効果では、タイミングが重要な役割を果たします。アニメーション効果と遷移効果の持続時間は、**Duration** プロパティに大して整数値を指定することで制御できます。持続期間のデフォルト値は 500 ミリ秒 (0.5 秒) です。アニメーション効果を長くするには、この値を大きくし、アニメーション効果を短くするには、この値を小さくします。

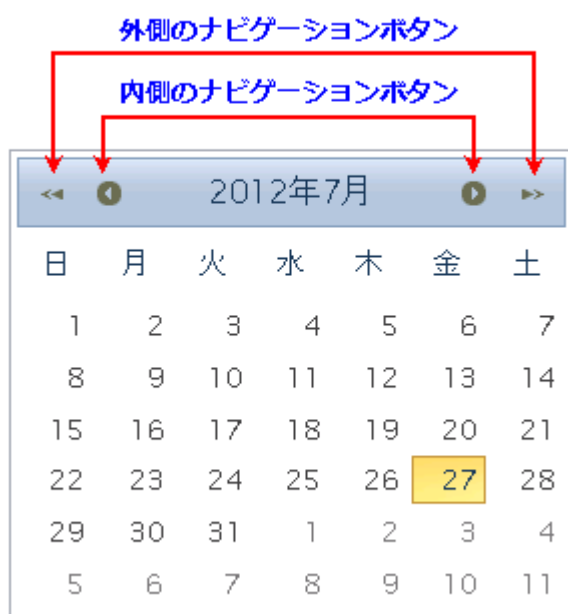
カレンダーのナビゲーション

C1Calendar は、カレンダー月のナビゲーションとして、以下の3種類の方法を提供します。

- ・〈前へ〉と〈次へ〉 - ◀ または ▶ ボタンをクリックし、前の月または次の月に移動できます。
- ・〈クイック - 前へ〉と〈クイック - 次へ〉 - ◀◀ または ▶▶ ボタンをクリックし、前の複数月または次の複数月をジャンプできます。
- ・ポップアップカレンダーの月と年セレクターカレンダータイトルをクリックすると、ポップアップカレンダーが開き、ポップアップカレンダーから月と年を選択できます。

内側と外側の〈前へ〉 / 〈次へ〉ナビゲーション

C1Calendar は、標準の ASP.NET Web Server Calendar コントロールに相当する追加のナビゲーションボタンを提供します。内側の〈前へ〉 / 〈次へ〉ナビゲーションボタン、および外側の〈前へ〉 / 〈次へ〉ナビゲーションボタンがあり、カレンダー月の間を移動するために使用します。内側と外側のナビゲーションボタンに別々のナビゲーションを指定できます。



内側のナビゲーションボタン

内側のナビゲーションボタンは、単一矢印の〈前へ〉 / 〈次へ〉ボタンを表します。

カレンダー月の間を移動する方法を決定できます。〈前へ〉 / 〈次へ〉ナビゲーションボタンのクリック回数を最小限にする場合、**QuickNavStep** プロパティの整数値を大きくします。デフォルトは、1 で、〈前へ〉 / 〈次へ〉ナビゲーションボタンをクリックすると、一度に1カ月ずつ移動することを意味します。

外側のナビゲーションボタン

外側のナビゲーションボタンは、二重矢印の〈前へ〉 / 〈次へ〉ボタンを表します。

QuickNavStep プロパティは外側のナビゲーションボタンに適用します。このプロパティのデフォルト値は 12 に設定され、〈前へ〉 / 〈次へ〉ナビゲーションボタンをクリックすると、カレンダー一月が12カ月分ずつ移動することを意味します。

ナビゲーションのツールチップ

内側の〈次へ〉 / 〈前へ〉ナビゲーションボタンおよび外側の〈次へ〉 / 〈前へ〉ナビゲーションボタンにツールチップを追加し、ユーザーの操作性を向上させることができます。内側のナビゲーションボタンにツールチップを追加するには、〈次へ〉ボタンの場合は **NextTooltip** プロパティを使用し、〈前へ〉ボタンの場合は **PrevTooltip** プロパティを使用します。外側のナビゲーションボタンにツールチップを追加するには、〈次へ〉 / 〈前へ〉ボタンに対して **QuickNextTooltip** と **QuickPrevTooltip** をそれぞれ使用します。

カレンダープレビュー

現在の月を切り替えずに、次の月や前の月の開始日と終了日を確認する場合、カレンダープレビュー機能を使用できます。カレンダープレビューは、前の／次のカレンダービュー(月)のポップアップカレンダーを表示するプレビュー領域を提供します。この機能は、**AllowPreview** プロパティを **True** に設定した場合に使用できます。

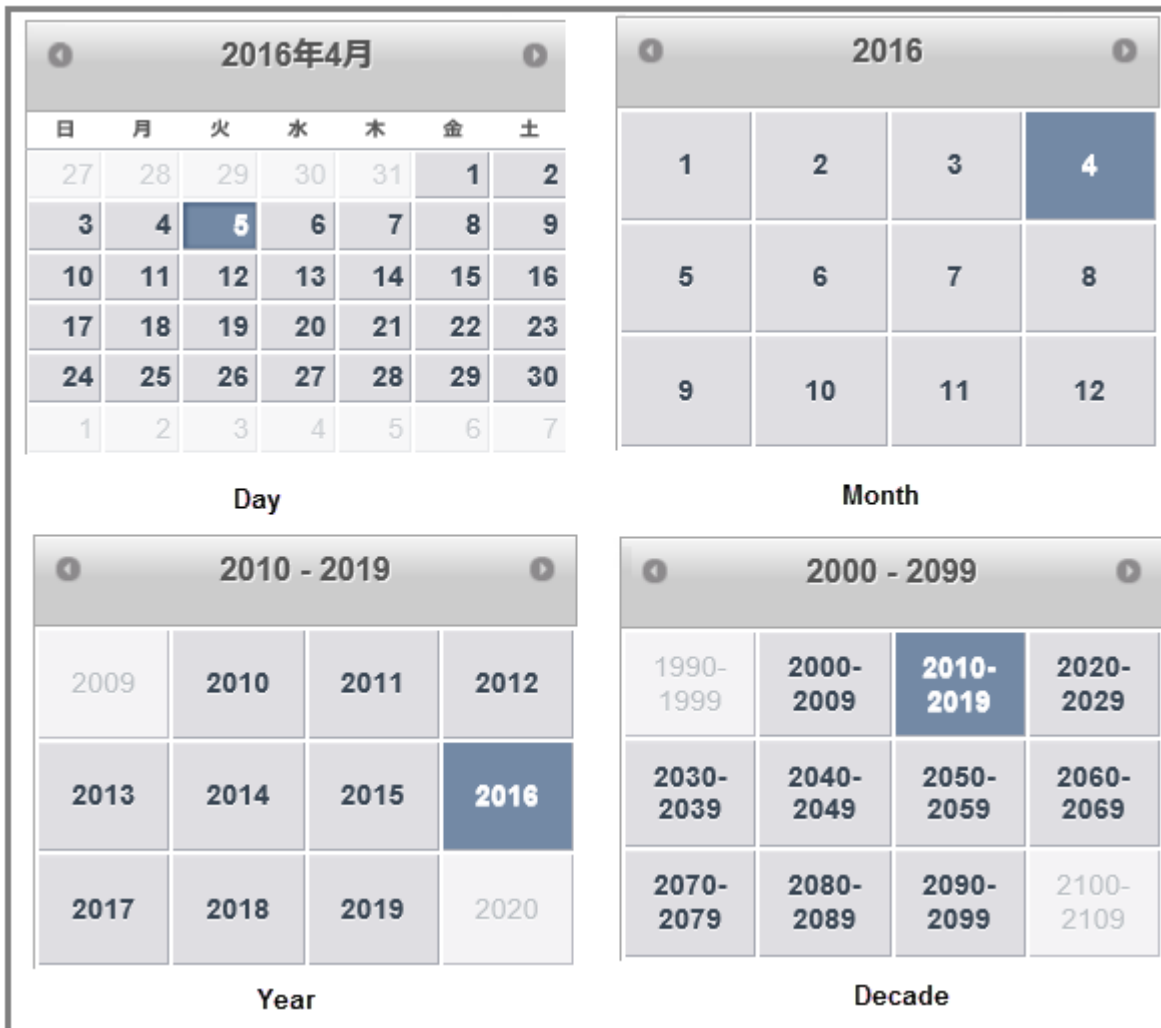


初期カレンダービュー

C1Calendarにて、デフォルトで日ビューが表示され、月の日を表示します。ユーザーが日付を'yyyy/MM'形式に設定して年の月も表示することができます。ユーザーの選択に従ってデフォルトビューまたは初期ビューを有効にするには、**InitialView** プロパティを使用します。**InitialView** プロパティは以下のような利用可能な値があります：

- 日
- 月
- 年
- 十年

以下の画像はC1Calendarの**InitialView**プロパティが上記に記載された値に設定した場合を示します。



マルチカレンダービュー

デフォルトカレンダーは、1つの月を表示します。1つの月は、1列と1行から構成します。**C1Calendar** に **MonthCols** プロパティと **MonthRows** プロパティの値を変更して、同じ年の複数の月を表示できます。

マルチカレンダー表示

MonthCols または **MonthRows** を 2 以上の整数値に設定し、複数のカレンダーを表示できます。**MonthCols** プロパティは月ビューの列数を決定し、**MonthRows** プロパティは月ビューの行数を決定します。

水平方向のカレンダー

水平方向のカレンダーは、行数よりも列数が多くなります。以下のカレンダーには、2列(4月に1列、5月に1列)、および1行(両方のカレンダー一月を水平方向に表示)があります。

垂直方向のカレンダー

垂直方向のカレンダーは、列数よりも行数が多くなります。**MonthRows** プロパティを 1 だけ大きくすると、現在の月の下に、12 か月表示カレンダーでの次の月が追加します。

以下の画像は、**MonthCols** または **MonthRows** の値が 2 である C1Calendar を示しています。

Calendar for ASP.NET Web Forms

2016年4月							2016年5月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	31	1	2	1	2	3	4	5	6	7
3	4	5	6	7	8	9	8	9	10	11	12	13	14
10	11	12	13	14	15	16	15	16	17	18	19	20	21
17	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27	28
24	25	26	27	28	29	30	29	30	31	1	2	3	4
1	2	3	4	5	6	7	5	6	7	8	9	10	11

2016年6月							2016年7月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1	2	3	4	26	27	28	29	30	1	2
5	6	7	8	9	10	11	3	4	5	6	7	8	9
12	13	14	15	16	17	18	10	11	12	13	14	15	16
19	20	21	22	23	24	25	17	18	19	20	21	22	23
26	27	28	29	30	1	2	24	25	26	27	28	29	30
3	4	5	6	7	8	9	31	1	2	3	4	5	6

ポップアップカレンダー

C1Calendar は、**C1Calendar.Popup** クライアント側メソッドを使用し、**PopupMode** プロパティを有効にすると、ポップアップカレンダーとして動作できます。ポップアップカレンダーを作成する方法については、「[ポップアップカレンダーの作成](#)」を参照してください。

カレンダー選択

C1Calendar には、**SelectionMode** プロパティからカレンダー上の単一または複数の日を選択するためのマルチカレンダー選択オプションがあります。デフォルト選択は、単一の日の選択に設定します。

SelectionMode プロパティに含まれる選択タイプは次のとおりです。

選択タイプ	説明
Day	単一の日を選択できます。
Days	単一の日を選択できます。
Month	月全体を選択できます。
WeekDay	月全体を選択できます。
WeekNumber	月全体を選択できます。

各選択タイプには、固有のスタイルプロパティが含まれ、ユーザーは各選択タイプに異なるスタイルを適用できるため、カレンダーコントロール上の各選択タイプを視覚的に区別できます。

MaxDate と **MinDate** プロパティから、カレンダー上での日付選択の最大日付と最小日付を指定できます。デフォルトでは、最小日付は 1900/1/1、最大日付は 2099/12/31 です。最大日付と最小日付が適用された場合、これらの値を超えた日付は

選択できなくなります。そのため、ユーザーが指定した範囲外の日付を選択しようとする、選択スタイルまたはアクションは適用できなくなります。

カレンダーの第1週のすべての日、またはすべての週末など、特定の範囲の日付を選択する必要がある場合、1回の選択で自動的にそれらの日を選択するには、カレンダーのセレクトを使用できます。マウスを何度もクリックしたり、キーを何度も押し続けたりしなくても、単にセレクトの上にマウスを置くだけで、指定した範囲の日付を選択できます。セレクトの詳細については、「[カレンダーのセレクト](#)」を参照してください。

カレンダーのセレクト

C1Calendar は、**曜日セレクト**、**週番号セレクト**、および**月セレクト**を提供し、曜日、週番号、月全体の日を迅速に選択できます。**SelectionMode** と **ShowWeekNumbers** の各プロパティをカスタマイズし、3つのセレクトをすべて使用することも、3つの中から1つまたは2つ使用することもできます。

月セレクト

SelectionMode プロパティで月値を有効にし、**ShowWeekNumbers** を有効にした場合、月ビューの左上端にデフォルトの **MonthSelectorImage** が表示します。[月セレクト]は、マウスカーソルがその上に置かれたときに、月のすべての日付を選択します。

曜日セレクト

曜日セレクトは、カレンダータイトルの下(またはカレンダーにヘッダーがあるときはヘッダーの下)に表示します。日曜日～土曜日の曜日名を表し、カレンダー一日の上に水平方向に表示します。

SelectionMode プロパティで日と曜日の値を有効にした場合、実行時に曜日セレクトを使用し、カレンダー内の曜日を選択できます。

週番号セレクト

ShowWeekNumbers が有効にされた場合、カレンダーの左側に垂直方向に週番号が表示します。週番号は、カレンダー一月の各週の週番号を表します。カレンダー一年には合計 52 週あるため、週番号は1～52の範囲となります。

SelectionMode プロパティで日と曜日の値を有効にした場合、実行時に週番号セレクトを使用し、カレンダー内の週番号を選択できます。デフォルトでは、**SelectionMode** プロパティで日のみが有効です。

カレンダー月の特定の週を選択するには、カーソルを週番号の上に移動します。

カレンダー日

デフォルトの **C1Calendar** コントロールは、1つのカレンダー一月に対して7日x6週のカレンダーマトリックスを表示します。7列はカレンダー上に表示される曜日(日曜日～土曜日)を表し、6行はカレンダー上に表示される週を表します。**DayRows** プロパティの整数値を大きくすると、カレンダー上に表示されるカレンダー日数を変更できます。

デフォルトのカレンダーでは、最小と最大カレンダー日がデフォルトで 1900/1/1 と 2099/12/31 の日付に設定されているため、1900/1/1 ～ 2099/12/31 の範囲の日付を選択できます。オプションとして、**MaxDate** と **MinDate** プロパティの日付値を指定し、選択可能な日付をカスタマイズできます。

デフォルトコントロールは、一度に1つのカレンダー一月の日付を表示します。オプションとして、**MonthCols** または **MonthRows** を2以上の整数値に設定し、一度に複数のカレンダー一月を表示できます。マルチカレンダービューとそのレイアウトの詳細については、「[マルチカレンダービュー](#)」を参照してください。

コントロールでサポートされている日付タイプは下の表のとおりです。

日付タイプ	説明
DisplayDate	現在の表示月の選択を取得または設定します。表示日と他の日付を視覚的に区別するには、表示日の外観を他のタイプの日付から一意にします。表示日の外観は、そのプロパティスタイルを使用してカスタマイズできます。

DisabledDates	これは、ユーザーがカレンダー上で選択して無効にする日(複数可)を指定する日付または日付範囲です。無効な日と他の日付を視覚的に区別するには、無効な日の外観を他のタイプの日付から一意にします。無効な日の外観は、そのプロパティスタイルを使用してカスタマイズできます。
SelectedDate, SelectedDates	これは、ユーザーがカレンダー上で選択した日を指定する日付(SelectedDate)または日付範囲(SelectedDates)です。選択した日と他の日を視覚的に区別するには、選択した日の外観を他のタイプの日付から一意にします。選択した日の外観は、そのプロパティスタイルを使用してカスタマイズできます。

日付書式パターン

C1Calendar によってサポートされている標準の日付書式文字は、下の表のとおりです。書式文字は、大文字小文字を区別します。たとえば、d と D は異なるパターンを表します。

書式文字	関連するプロパティ/説明	データ書式の使用例
d	短い形式の日付パターン	2007/1/23
D	長い形式の日付パターン	2007年1月23日
dddd, MMMMM dd	月の完全名、月の日にち、曜日の完全名	7月1日 日曜日
d MMMM	月の完全名、月の日にち	7月1日
ddd	曜日の完全名	火曜日
"d	曜日の略名	火
"d	月の日にち	23

標準の日付書式は、文字列要素と組み合わせて、より高度な日付処理と表示を達成できます。

C1Calendar の **TitleFormat** プロパティは、カレンダータイトルと月ビュータイトルの表示の日付ピクチャ文字列要素から処理されるいくつかの定義済みの書式を提供します。カレンダータイトルの書式設定における書式文字列の使用の詳細については、「[カレンダータイトルへの組み込み日付形式パターンの適用](#)」を参照してください。

選択した日

SelectedDate プロパティを設定すると、コントロール内で個々の日付が強調表示します。選択した日値を[**DateTime コレクションエディター**]に追加し、複数の選択した日を設定できます。

[**DateTime コレクションエディター**]にアクセスする

[**DateTime コレクションエディター**]にアクセスするには、以下の手順を実行します。

1. **C1Calendar** のプロパティウィンドウから、**SelectedDates** プロパティを検索します。
2. **SelectedDates** プロパティの横にある<...>ボタンをクリックします。

オプションとして、ユーザーは日付をクリックするか、月の間を移動して、任意の日付に移動できます。ユーザーが複数の日付、週全体、または月全体を選択できるようにカレンダーを構成できます。

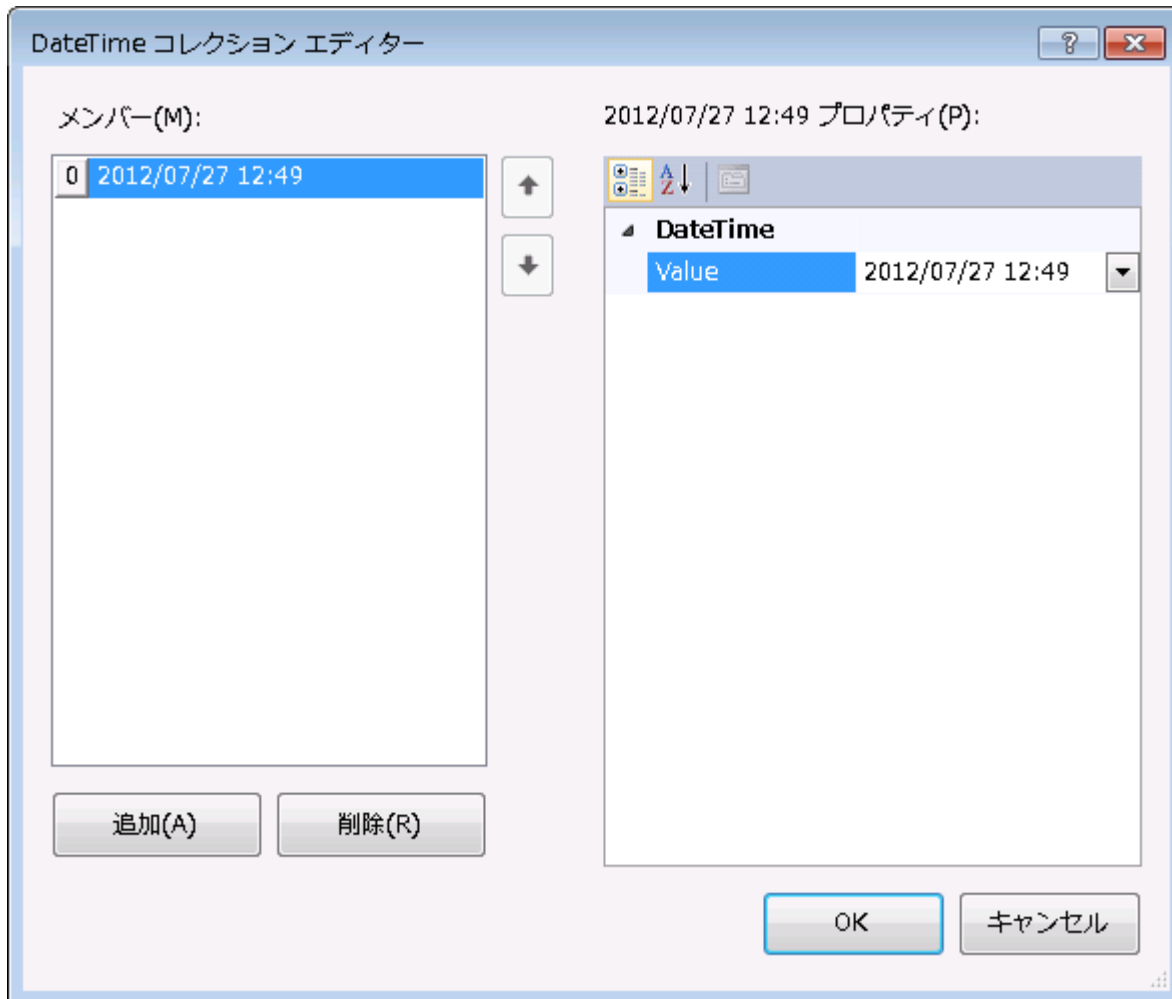
無効な日

C1Calendar.DisableDates プロパティを設定すると、コントロール内の特定の日付が無効になります。

無効な日

C1Calendar は、カレンダーコントロールの無効な日を指定できる **DateTime コレクションエディター**を提供します。〈追加〉または〈削除〉ボタンをクリックし、日付を簡単にエディタに追加したり、エディタから削除したりできます。

DateTime コレクションエディターは下図のように表示します。



[DateTime コレクションエディター]にアクセスする

[DateTime コレクションエディター]にアクセスするには、以下の手順を実行します:

1. C1Calendar のプロパティウィンドウから、**DisableDates** プロパティを検索します。
2. **DisableDates** プロパティの横にある〈...〉ボタンをクリックします。

サーバー側カレンダー

C1Calendar には、コードビハインドでプログラムによってカレンダーをカスタマイズできるいくつかのサーバー側イベントが含まれます。サーバー側イベントを呼び出すには、**AutoPostBack** プロパティを True に設定し、サーバー側にデータをポストバックする必要があります。

下の表に、サーバー側で使用できるイベントを示します。

イベント	説明
DisplayDateChanged	ナビゲーションによって DisplayDate プロパティが変更されたときに発生します。
SelectedDatesChanged	マウスクリックによって SelectedDates プロパティが変更されたときに発生します。

クライアント側の機能

C1Calendar のクライアント側には、サーバー側コントロールにおけるオブジェクトモデルに匹敵する非常に充実したクライアント側オブジェクトモデルがあります。

C1Calendar コントロールが表示されると、クライアント側カレンダーのインスタンスが自動的に作成されます。これは、サーバーにPostBackすることなく、**C1Calendar** コントロールのあらゆるプロパティとメソッドに簡単にアクセスできることを意味します。

たとえば、C1Calendar1 という名前の **C1Calendar** コントロールが Web ページ上に配置されると仮定します。ページが表示されると、C1Calendar1_Client という名前の対応するクライアントカレンダーオブジェクトが作成されます。

C1Calendar のクライアント側コードを使用すれば、時間をかけて Web サーバーに情報を送信しなくても、Web ページに多くの機能を実装できます。そのため、クライアント側コードを使用すると、Web サイトの効率を向上させることができます。

クライアント側イベント

C1Calendar には、以下のアクションが発生するときに **C1Calendar** を操作できるいくつかのクライアント側イベントが含まれます。

- カレンダーが閉じた後
- ポップアップカレンダーが表示された後
- カレンダーが閉じる前
- カレンダー上で日付選択が変更されるとき

JavaScript などのクライアント側コードを使用すれば、Web サーバーへの時間のかかる情報送信を行わずに、Web ページに多くの機能を実装できるため、クライアント側コードを使用すると、Web サイトの効率が向上します。

C1Calendar コントロールは、実行時にアクションが発生したときに実行させる対応のクライアント側イベント(上記の表参照)を指定する以下の文字列プロパティを公開します。

プロパティ	説明
OnClientAfterSelect	日付が選択された後に発生します。
OnClientAfterSlide	月ビューがスライドされた後に発生します。
OnClientBeforeSelect	日付が選択される前に発生します。
OnClientBeforeSlide	月ビューがスライドされる前に発生します。
OnClientCustomizeDate	日のセルのコンテンツ、スタイルと属性をカスタマイズするためのコールバック関数です。
OnClientSelectedDatesChanged	選択した日のコレクションが変更される前に発生します。

これらのイベントは、クライアント側で対話性を実現する際に便利です。これらのイベントを利用すれば、ユーザーと**C1Calendar**の対話方法を制御することによって、**C1Calendar** の制御を強化できます。

これらのイベントを処理するには、Web フォームのソースページに JavaScript 関数を追加し、コントロールに**C1Calendar**クライアント側イベントにตอบสนองしてこれらの関数を呼び出させる必要があります。

上記の表にリストされたサーバー側プロパティを使用して、特定のクライアント側イベントに反応する JavaScript 関数の名前を指定できます。たとえば、「AfterSelect」関数を割り当てて、カレンダーが閉じたときにカレンダーにตอบสนองさせるには、**OnClientAfterSelect** プロパティを「AfterSelect」に設定します。

タスク別ヘルプ

タスク別ヘルプは、ASP.NET のプログラミングに習熟し、コントロールの使用方法を全般的に理解しているユーザーを対象としています。ヘルプに記述された手順に従うことによって、さまざまな **C1Calendar** の機能をデモンストレーションするプロジェクトを作成して、**C1Calendar** コントロールの用途を理解することができます。

カスタム日付の作成

C1Calendar はクライアント上の各日付セルの表示のカスタマイズをサポートします。日付セルのカスタマイズは、**OnClientCustomizeDate** プロパティで指定されたクライアント側コールバック関数を実装することで実行されます。

コールバック関数の引数は次のとおりです。

- **daycell** カスタマイズする日付のテーブルセルを表す jQuery オブジェクト。
- **date** セルの日付。
- **dayType** 日のタイプ。
- **Hover** マウスが日セル上にあるかどうか。
- **Preview** プレビュー コンテナにレンダリングするかどうか。

カスタム日付を作成するには、**OnClientCustomizeDate** プロパティによって指定されたクライアント側コールバック関数を次のように実装します。

ソースビュー

```
<script type="text/javascript">

function customizeDate($daycell, date, dayType, hover, preview) {
    if (date.getMonth() === 11 && date.getDate() === 25) {
        var $img = $('<div></div>').width(16).height(16).css('background-image', 'url(images/xmas.png)');

        $daycell.attr('align', 'right').empty().append($img);

        if ($daycell.hasClass('ui-datepicker-current-day')) {
            $daycell.css('background-color', '#aaa');
        } else
            $daycell.css('background-color', hover ? 'lightgray' : '');
        return true;
    }

    return false;
}

</script>

<cc1:C1Calendar ID="C1Calendar1" runat="server" DisplayDate="2012-12-25"
    onclientcustomizedate="customizeDate">
</cc1:C1Calendar>
```

✔ このトピックの作業結果

カスタム日付に対してカスタム画像が指定されます。

2012年12月						
日	月	火	水	木	金	土
25	26	27	28	29	30	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24		26	27	28	29
30	31	1	2	3	4	5

ポップアップカレンダーの作成

以下の手順では、クライアント側オブジェクトモデルを使用して C1Calendar をポップアップカレンダーにし、サーバーにポストバックすることなく、充実したポップアップカレンダーを作成する方法について説明します。クライアント側カレンダーにスクリプトを割り当てて、C1Calendar のデフォルト動作を簡単にポップアップカレンダーに設定できます。

数行の JavaScript を記述して **click** イベントを HTML マークアップ .aspx ページ内でそれに関連付けたコントロール (TextBox コントロールなど) に宣言するだけで、ポップアップカレンダーを作成できます。

C1Calendar ポップアップカレンダーをテキストボックスコントロールなどの入力コントロールに関連付けて、ユーザーがポップアップカレンダー上の日付を選択した場合にポップアップコントロールを閉じるようにします。

この手順を実行すると、ユーザーは以下の操作が可能になります。

- C1Calendar のクライアント側オブジェクトのアクセス操作
- ポップアップカレンダーを入力コントロールに関連付ける
- **Offset** プロパティを使用してポップアップカレンダーの位置を決定する
- ユーザーが日付を選択したときにポップアップカレンダーを閉じる

実行時にユーザーがボタンコントロールをクリックしたときにテキストボックスコントロールの左下に表示されるクライアント側ポップアップカレンダーを作成するには、**Popup**メソッドを使用してクライアント側関数を作成します。以下の手順を実行します。

1. ページに HTML **TextBox** および **C1Calendar** の各コントロールを追加します。
2. .aspx ページで、**Click** と **SelectDate** 関数に対して以下のスクリプトを追加します。

ソースビュー

```
<script type="text/javascript">
    $(function () {
        $("#<%=TextBox1.ClientID %>").click(function () {
            $("#<%=C1Calendar1.ClientID %>").c1calendar("popup", {
                of: $("#<%=TextBox1.ClientID %>"),
                offset: '0 2'
            });
        });
    });
};

function SelectDate() {
    var selDate = $(this).c1calendar("getSelectedDate");
    if (!!selDate) $("#<%=TextBox1.ClientID %>").val(selDate.toDateString());
};
</script>
```

Calendar for ASP.NET Web Forms

```
}  
</script>
```

上記の最初の **Click** 関数は、**Click** イベントと **offset** プロパティを使用し、ポップアップカレンダーのドッキング配置を決定し、ユーザーが関連付けられている要素 (**TextBox1** など) 内にクリックすると、ポップアップカレンダーを表示させます。

上記2番目の **SelectDate** 関数は、ポップアップカレンダーが閉じたときに選択した日の値をテキストコントロールに割り当てます。

3. デザインビューに切り替えて、サーバー側プロパティに割り当てます。**OnClientSelectedDatesChanged** プロパティを関数名 "SelectDate" に、**PopupMode** プロパティを True に設定します。**OnClientSelectedDatesChanged** プロパティは、ポップアップカレンダーが閉じた後に、**SelectDate** 関数を呼び出し、選択した日の値をテキストボックスに割り当てます。

Web ページを実行し、実行時に以下のタスクを実行します。

- テキストボックスコントロール内にクリックされた場合、C1Calendar コントロールがその下に表示されるようにします。



- ポップアップカレンダーから日付を選択します。

2012年7月30日



ポップアップカレンダーが閉じ、選択した日付がテキストボックスコントロールに割り当てられます。

C1Calendar の外観のカスタマイズ

このセクションでは、カレンダーの要素にスタイルを適用し、基本的な外観プロパティを設定して、C1Calendar の外観をカスタマイズする手順について説明します。

テーマの変更

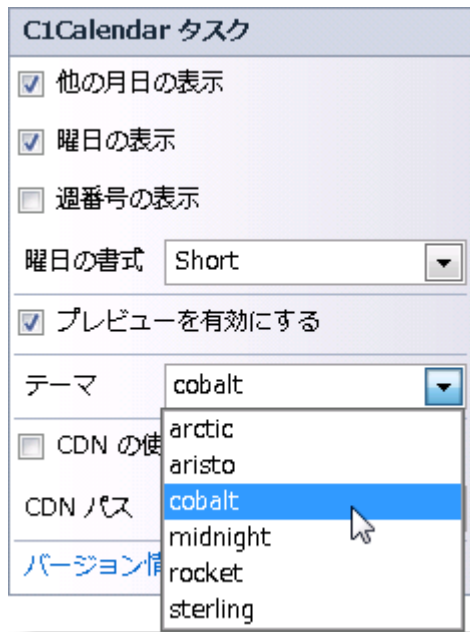
C1Calendar には、数回クリックするだけでコントロールに適用できる6つのテーマが組み込まれています。このトピックでは、デザインビューおよびソースビューを使用してテーマを変更する方法を説明します。

視覚スキームの詳細については、「[テーマ](#)」を参照してください。

デザインビューでのテーマの変更

C1Calendarのテーマを変更するには、以下の手順を実行します。

1. **C1Calendar** のスマートタグをクリックし、[**C1Calendar タスク**]メニューを開きます。
2. テーマのドロップダウン矢印をクリックし、リストからテーマを選択します。この例では、**Cobalt**を選択します。



C1Calendar コントロールが **Cobalt**のテーマを採用します。

✔このトピックの作業結果

次の図は、テーマ **Cobalt** を適用した **C1Calendar** を示しています。

2012年7月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11

カスタムテーマの追加

Calendar for ASP.NET Web Forms には6種類の組み込みテーマが用意されていますが、異なるテーマを使用する場合は、CDN URL を使用して既存のテーマを選択するか、jQuery ThemeRoller Web アプリケーションを使用して独自のカスタムテーマを作成することができます。

CDN URL の使用

1. **C1Calendar** のスマートタグをクリックし、[タスク]メニューを開きます。
2. [**CDN の使用**]を選択します。
3. **Theme** プロパティに CDN URL を入力してテーマを指定します。CDN URL

Calendar for ASP.NET Web Forms

は <http://blog.jqueryui.com/2011/06/jquery-ui-1-8-14/> で確認できます。この例では、次の Sunny テーマを使用します:<http://ajax.aspnetcdn.com/ajax/jquery.ui/1.8.14/themes/sunny/jquery-ui.css>。

このテーマ設定は Web.config ファイルの <appSettings> に格納されています。ソリューションエクスプローラで、Web.config ファイルをダブルクリックします。<appSettings> タグに WijmoTheme キーと値が含まれていることに注意してください。これは、追加した CDN URL が指定されている場所です。

4. プロジェクトを実行し、テーマが Calendar に適用されていることを確認してください。

jQuery ThemeRoller の使用

1. <http://jqueryui.com/themeroller/> に移動します。
2. 「Roll Your Own」タブで、設定を変更してカスタムテーマを作成します。フォント、色、背景、枠線などをカスタマイズできます。または、「Gallery」タブをクリックして既存のテーマを選択します。
3. 「Download」ボタンをクリックし、Build Your Download ページでもう一度「Download」をクリックします。
4. テーマの .zip ファイルを Visual Studio プロジェクトフォルダ内のフォルダに保存し、解凍します。この例では、Themes フォルダを作成しました。
5. ソリューションエクスプローラで、プロジェクト名を選択して「更新」ボタンをクリックすると、プロジェクト内に Themes フォルダが表示されます。
6. C1Calendar のスマートタグをクリックし、[タスク]メニューを開きます。
7. [CDN の使用]を選択します。
8. C1Calendar コントロールを右クリックして、プロパティウィンドウの Theme プロパティに移動し、カスタムテーマ .css へのパス(たとえば、Themes/css/custom-theme/jquery-ui-1.8.22.custom.css)を入力します。

このテーマ設定は Web.config ファイルの <appSettings> に格納されています。ソリューションエクスプローラで、Web.config ファイルをダブルクリックします。<appSettings> タグに WijmoTheme キーと値が含まれていることに注意してください。これは、追加したカスタムテーマが指定されている場所です。

9. プロジェクトを実行し、テーマが C1Calendar に適用されていることを確認してください。

カレンダータイトルへの組み込み日付形式パターンの適用

このトピックでは、組み込みの日付形式パターンを使用し、カレンダータイトルをカスタマイズして特定の日付書式を表示する方法について説明します。

TitleFormat プロパティを使用してカレンダータイトルを書式設定する場合、カレンダーの「月の完全名、年」、「月の省略名、年」、「月、日、年」、「月の省略名範囲、年」(マルチカレンダーの場合)、「月の完全名範囲、年」(マルチカレンダーの場合)、「月日範囲、年」(マルチカレンダーの場合)のいずれかを表示できます。

以下のトピックでは、カレンダータイトルをカスタマイズする各種のオプションについて説明します。

カレンダーの月の完全名と年の表示

カレンダーの月の完全名と年を表示するには、以下の手順を実行します。

1. ページに C1Calendar を追加します。
2. C1Calendar のプロパティウィンドウで、TitleFormat プロパティを選択して、日付書式パターン "yyyy年MMMM" を入力します。
カレンダータイトルに、カレンダーの月の完全名と年が表示します。

2012年7月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11

カレンダーの月の省略名と年の表示

カレンダーの月の省略名と年を表示するには、以下の手順を実行します。

1. Web フォームに **C1Calendar** を追加します。
2. C1Calendar のプロパティウィンドウで、**TitleFormat**プロパティのドロップダウンボタンをクリックして、カスタム日付書式パターンの一覧を開きます。
3. 日付書式パターン "yyyy/MMM" を選択します。
カレンダータイトルに、カレンダーの月の省略名と年が表示します。

2012/7						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11

カレンダーの月と年の表示

カレンダーの月と年を表示するには、以下の手順を実行します。

1. Web フォームに **C1Calendar** を追加します。
2. C1Calendar のプロパティウィンドウで、**TitleFormat**プロパティのドロップダウンボタンをクリックして、カスタム日付書式パターンの一覧を開きます。
3. 日付書式パターン "yyyy-MM" を選択します。
カレンダータイトルに、カレンダーの日、月と年が表示します。



2012-07						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11

カレンダータイトルへのカスタム日付書式パターンの適用

組み込みのカスタム日付書式パターンに加え、カスタム日付書式パターンを適用して、カレンダータイトルまたは月ビュータイトルをカスタマイズすることもできます。C1Calendar は、すべての日付書式パターンをサポートしているため、任意の日付書式パターンを **TitleFormat** に適用できます。

カレンダータイトルにカスタム日付書式パターンを適用するには、以下の手順を実行します。

1. ページに **C1Calendar** を追加します。
2. C1Calendar のプロパティウィンドウで、**TitleFormat** プロパティに "yyyy/MM/dd" 値を設定します。カレンダータイトルに、カスタム日付書式パターンが表示します。



2012/07/01						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11

月ビューでのカレンダータイトルに日付書式の適用

C1Calendarの月ビューにて、タイトルは**MonthViewTitleFormat**のプロパティで設定されます。

MonthViewTitleFormatプロパティのデフォルト値は'yyyy'です。以下の画像は月ビューのデフォルトタイトルを表示します。

2016			
1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12

また、月ビューにてカスタムフォーマットを表示するには、タイトルをカスタマイズすることができます。たとえば、以下の画像は `MonthViewTitleFormat` が 'gg yy' に設定したカレンダータイトルを示します。

西暦 16			
1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12

ナビゲーションタスク

以下のトピックでは、カレンダーのナビゲーションオプションを使用する方法を示します。

外側のナビゲーションボタンを使用したカレンダーの移動

外側のナビゲーションボタンは、二重矢印の〈前へ〉／〈次へ〉ボタンを表します。 `NavButtons` プロパティを `quick` に設定し、外側のナビゲーションボタンを表示します。

`QuickNavStep` プロパティは外側のナビゲーションボタンに適用されます。このプロパティのデフォルト値は 12 に設定され、〈前へ〉／〈次へ〉ナビゲーションボタンをクリックすると、カレンダー一月が 12 カ月分ずつ移動することを意味します。

デザインビューの場合:

外側のナビゲーションボタンを使用してカレンダー一月を3カ月分ずつ移動するには、以下の手順を実行します。

1. Web フォームに **C1Calendar** を追加します。
2. C1Calendar のプロパティウィンドウで、**NavButtons** プロパティのドロップダウンボタンをクリックして、Quick を選択します。
3. **QuickNavStep** プロパティを 3 に設定します。

ソースビューの場合:

ソースビュー

```
<cc1:C1Calendar ID="C1Calendar1" runat="server" NavButtons="Quick"
    QuickNavStep="3">
```

Calendar for ASP.NET Web Forms

</cc1:C1Calendar>

✔このトピックの作業結果

〈クイック - 次へ〉ボタンをクリックして、カレンダー一月を3か月先へジャンプします。



次のカレンダー月のプレビュー

現在の月を切り替えずに、次の月や前の月の開始日と終了日を確認する場合、カレンダープレビュー機能を使用できます。カレンダープレビューは、前の／次のカレンダービュー(月)のポップアップカレンダーを表示するプレビュー領域を提供します。この機能は、allowPreview オプションを **True** に設定した場合に使用できます。

デザインビューの場合:

外側のナビゲーションボタンを使用してカレンダー一月を3か月分ずつ移動するには、以下の手順を実行します。

1. Web フォームに **C1Calendar** を追加します。
2. C1Calendar のプロパティウィンドウで、**AllowPreview**プロパティを True に設定します。

ソースビューの場合:

ソースビュー

```
<cc1:C1Calendar ID="C1Calendar1" runat="server" AllowPreview="True">
  </cc1:C1Calendar>
```

このトピックの作業結果

プロジェクトをロードすると、いずれかの側のコントロールの上にマウスポインタを置くことによって次の月または前の月をプレビューできます。



選択タスク

以下のトピックでは、カレンダーの選択オプションを使用する方法を示します。

カレンダーの週番号の選択

カレンダーの **ShowWeekNumbers** プロパティが有効にされた場合、カレンダーの左側に垂直方向に週番号が表示します。週番号は、カレンダー月の各週の週番号を表します。カレンダー一年には合計 52 週あるため、週番号は 1 ~ 52 の範囲となります。

SelectionMode プロパティで日と週番号の値を有効にした場合、実行時に週番号セレクタを使用し、カレンダー内の週番号を選択できます。デフォルトでは、**SelectionMode** プロパティで日のみが有効です。

デザインビューの場合:

週番号の選択を有効にするには、以下の手順を実行します。

1. Web フォームに **C1Calendar** を追加します。
2. C1Calendar のプロパティウィンドウで、**ShowWeekNumbers** プロパティを True に設定します。
3. C1Calendar のプロパティウィンドウで、**SelectionMode** プロパティのノードを展開し、**WeekNumber** を True に設定します。

ソースビューの場合:

ソースビュー

```
<cc1:C1Calendar ID="C1Calendar1" runat="server" ShowWeekNumbers="True">
  <SelectionMode WeekNumber="True" />
</cc1:C1Calendar>
```

✔このトピックの作業結果

カレンダー月の特定の週を選択するには、カーソルを週番号の上に移動します。



Wk	日	月	火	水	木	金	土
27	1	2	3	4	5	6	7
28	8	9	10	11	12	13	14
29	15	16	17	18	19	20	21
30	22	23	24	25	26	27	28
31	29	30	31	1	2	3	4
32	5	6	7	8	9	10	11

カレンダー月の選択

カレンダー月の選択を有効にするには、次のように **SelectionMode** プロパティの **month** 値を true に設定し、**ShowWeekNumbers** を true に設定します。

デザインビューの場合:

1. Web フォームに **C1Calendar** を追加します。
2. C1Calendar のプロパティウィンドウで、**ShowWeekNumbers** プロパティを True に設定します。
3. C1Calendar のプロパティウィンドウで、**SelectionMode** プロパティのノードを展開し、Month を True に設定します。

ソースビューの場合:

ソースビュー

```
<cc1:C1Calendar ID="C1Calendar1" runat="server" ShowWeekNumbers="True">  
  <SelectionMode Month="True" />  
</cc1:C1Calendar>
```

✔このトピックの作業結果

MonthSelectorImage が月ビューの左上端に表示します。月セレクトは、マウスカーソルがその上に置かれたときに、月のすべての日付を選択します。



Wk	日	月	火	水	木	金	土
27	1	2	3	4	5	6	7
28	8	9	10	11	12	13	14
29	15	16	17	18	19	20	21
30	22	23	24	25	26	27	28
31	29	30	31	1	2	3	4
32	5	6	7	8	9	10	11

カレンダーの曜日の選択

曜日セレクトは、カレンダータイトルの下(またはカレンダーにヘッダがあるときはヘッダの下)に表示します。日曜日～土曜日の曜日名を表し、カレンダー日の上に水平方向に表示します。

SelectionMode プロパティで日と曜日の値を有効にした場合、実行時に曜日セレクトを使用し、カレンダー内の曜日を選択できます。

デザインビューの場合:

1. Web フォームに **C1Calendar** を追加します。
2. C1Calendar のプロパティウィンドウで、**SelectionMode** プロパティのノードを展開し、**WeekDay** を **True** に設定します。

ソースビューの場合:

ソースビュー

```
<cc1:C1Calendar ID="C1Calendar1" runat="server">
  <SelectionMode WeekDay="True" />
</cc1:C1Calendar>
```

✔このトピックの作業結果

カレンダー日の上に水平方向に表示される **日** や **月** など、任意の曜日名を選択します。

Wk	日	月	火	水	木	金	土
27	1	2	3	4	5	6	7
28	8	9	10	11	12	13	14
29	15	16	17	18	19	20	21
30	22	23	24	25	26	27	28
31	29	30	31	1	2	3	4
32	5	6	7	8	9	10	11

最小および最大日付範囲の設定

以下の手順では、**MinDate** プロパティと **MaxDate** プロパティを設定し、特定の日付範囲を表示する方法を示します。

デザインビューの場合:

1. Web フォームに **C1Calendar** を追加します。
2. C1Calendar のプロパティウィンドウで、**MinDate** プロパティのドロップダウンボタンをクリックして、それを **2013/1/16** に設定します。
3. **MaxDate** プロパティを **2013/1/28** に設定します。

ソースビューの場合:

ソースビュー

```
<cc1:C1Calendar ID="C1Calendar1" runat="server" AllowPreview="True">
</cc1:C1Calendar>
```

✔このトピックの作業結果

Calendar for ASP.NET Web Forms

以下のカレンダーは、2013年1月16日～2013年1月28日までの特定の日付範囲を表示します。

2013年1月						
日	月	火	水	木	金	土
30	31	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9

クライアント側からの日付の選択

クライアント側からカレンダーの日付を選択するには、**OnClientSelectedDatesChanged** プロパティの使用を有効にして選択した日付の値を箇条書きリストに割り当て、**SelectedDatesChanged** イベントを**OnClientSelectedDatesChanged** プロパティに割り当ててサーバー側から選択した日付を取得し、クライアント側から日付が選択されたときに **AutoPostBack** プロパティを有効にして自動ポストバックを有効にします。

ソースビューの場合:

ソースビュー

```
<cc1:C1Calendar ID="C1Calendar1" runat="server" AutoPostBack="true" ShowWeekNumbers="true"
    onclientselcteddteschanged="C1Calendar1_SelectedDatesChanged">
  <SelectionMode Month="True" WeekDay="True" WeekNumber="True" />
</cc1:C1Calendar>

<p>選択された日付:</p>
<asp:BulletedList ID="BulletedList1" runat="server">
</asp:BulletedList>
```

このトピックの作業結果

カレンダーの日付をいくつか選択し、選択した日付が箇条書きリストに表示されることに注意してください。



選択された日付:

- 2012年8月26日
- 2012年8月27日
- 2012年8月28日

カルチャの設定

このトピックでは、**Culture** プロパティを使用して、カレンダーのカルチャをスペイン語(アルゼンチン)に設定する方法について説明します。

デザイン時にカルチャを選択するには:

C1Calendar コントロールに対して特定のカルチャを選択できます。コントロールの**Culture** プロパティを設定するには、そのプロパティウィンドウを開き、ドロップダウンリストからカルチャを選択するだけです。

HTML コードを使用してカルチャを選択するには:

Culture 値を設定するには、.aspx ページ内で次のソースコードを使用します。

ソースビュー

```
<cc1:C1Calendar ID="C1Calendar1" runat="server" AllowPreview="True">
  </cc1:C1Calendar>
```

✔このトピックの作業結果

カルチャ - スペイン語(スペイン)を適用した **C1Calendar** コントロールは次のような表示になります。

Calendar for ASP.NET Web Forms

2012年julio						
lu	ma	mi	ju	vi	sá	do
25	26	27	28	29	30	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	1	2	3	4	5